



ご挨拶

みなさん、お元気ですか？ お体は？ 精神面は？ 弱い立場の方々、病弱な方、高齢で一人暮らしの方、障害をもたれた方、一生懸命仕事をなされている方がたにもきつい状況が、あらわれて来ていませんか？ 最近の医療環境改悪にも全く腹立たしい、何かと理屈をつけて、患者さんの治療に大切な薬剤が、いたるところで、いつの間にか消えています。医療機関は仕事をしていても診療報酬はへり、また全国の医療機関の閉院も目立ってきました。

今月の言葉

なぜ、こころある人が今少なくなっている。前向きに努力し、みんなの幸せのために尽くすことがあたりまえになるように世界が変わればいい、

某氏

院長より

①毎日の外来での神経ブロック、とくに PHN (帯状疱疹ヘルペス神経痛) 治療は再開しています。積極的に来院下さい。市内でもこの治療ができるところが減ってます。

②がんの早期診断もそうですが、心の不具合、不登校、煙草と飲酒習慣による ASO (下肢動脈閉そく性疾患)、そして腰痛などの痛みの方も以前のように来院ください。

③しつこいけど、高齢者、弱者、障がい児者 (医療ケア児者) を守ってあげなければいけません。相手を家族のように思い、大切に作る心が求められます。

④一方、みなさん自身も大事にしましょう。

⑤皆さん 海外では精神科の病院がない国が結構多いのを知っていますか？

私が経験したのは、マレーシアとイタリアに滞在していたころ、身体や心身の障がいのある方、精神疾患を持たれる人々への支援のありさま、をみて感動しました。

その国民自身が人間に対して優しいのです。きっと高い人間性、人間愛が、

⑥院長の外来日は；月 (午前午後)、火 (午前午後)、金 (午後)、土 (午前) です

⑦院長は当分、大丈夫です。皆様のお体も大切にしてください。

5月上旬に手術予定ですが、その時は約1週間の休診になる予定です。

⑧ (今年7月ごろ) 韓国の釜山小山ロータリークラブで再び、友人の釜山大学の教授のおかげで10周年事業を行います。また体が許せば茨城日立市の太陽村、障碍児者への支援をあたり前のように、自然にしているところへ50年ぶりに行けるかな？

⑨重症の病氣を持つ患者さんのイメージ、皆さんはどう考えますか？

○普段あまり症状がなくて、ご自分が持っている病気に気が付かず、医師も気が付かず (専門外ということで) 急に病変が悪化、命がけになる場合、/脳循環障害、全身動脈硬化、高血圧、慢性呼吸器疾患、腸管癒着、アルコール過剰摂取、消化管術後、糖尿病、アルコール性肝炎、エコノミー症候群、下肢静脈血栓症、などなど、

もう一つ





○大体もともとあった疾病がありながら、救急外来に飛び込むような例、これらはある程度初めから予測が付きませんが、/心筋梗塞、脳溢血、胆嚢炎、膵炎、腸閉塞、肺塞栓、下肢動脈閉塞など、

これらの多くは、普段から体の異変を、発病する前から予測し、手を打つておけばその多くが助かることが多いと思います。そのポイントは「総合診療学」です。物事、単独で発症することはほとんどありません。すこしわかりにくいかな？

⑩ドイツ、フランクフルト総合病院でのお話、患者さんに対する十二分な医療を徹底するため、医療関係者（医師、看護師、心理士、薬剤師、福祉関係、）の人数がけた違いに日本の医療界にくらべて多かったのを覚えています、彼らの医療への考え方の基本は、福祉、医療にかかる費用はまず赤字が当たり前、足りない分を国から援助する、ということだったのを覚えています、15年くらいまえかな？

⑪精神科の患者さんの話を先ほどしましたが、海外では、すべて国にとはいませんがほとんど入院せず一般の方にまざって生活できているのです。日本での精神科入院はひょっとして、海外なら入院しなくてもいい人をが無理やり閉じ込められている実態が、もしかして続いているのではありませんか？

⑫当院、岡村胃腸科外科の特徴をおはなしします。ドクター2人、1人は、外科、麻酔科の専門性を持った「総合診療医」、もう一人は消化器内科専門医です。治療内容、姿勢、に大きな違いがありますのでご注意ください。

⑬片頭痛の方には、院長の長年の経験からですが、低血圧のかたが多いと判断しています。自律神経失調の方もいらっしゃいますが、むしろ低血圧を治療、指導も行えば結構改善しています。

<今月から、診断機器を新しくしレベルアップさせました>

●AI技術活用 CT スキャン (Supra Optica) 64ch/128slice

今迄のCTの83%被ばく低減、撮影時間 さらに短縮 もちろん3D画像解析

●超音波診断装置 (ARIETTA750、DeepinsightSE)

エラストグラフィー (乳腺診断用) を有ししかもAI技術活用

●胸部レントゲン撮影時 AI 活用でより確実な肺癌診断が可能

「院長の2月活動報告」

04/ 胸部レントゲン/AI設置

05/ エコー装置/乳癌用診断エラストグラフィー設置

03/ NAC (術前化学療法) 院長 STK 病院

19/ MSHCTスキャン64列/AI活用

20/ NAC (術前化学療法) 院長 STK 病院

25/ TKクリニック 院長

(28/ごろ、院長のNACによる体調不良が出現しましたが、乗り越えています。)

お米、里野菜、ガソリンなど値上げが続いていますね。  
なるべく節約出来るように、献立を考えています。

今日担当 島津

